

教科大好きプロジェクト 「国語実践講座」を開催しました



「朝食はパンか、ごはんかどちらがよいでしょう。根拠をはっきりさせて書きましょう。」

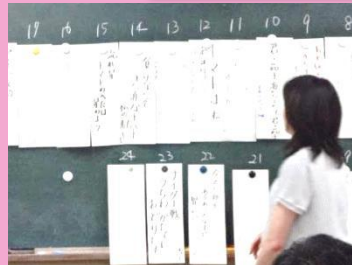


より説得力がある文章はどちらでしょう？

参加者どうして実際に書いた文章を交流



書く内容が思いつかないという生徒への指導のためマッピングの手法を体験



創作した俳句を披露

南丹教育局では、管内の優れた授業実践や授業改善に向けた方策を紹介し、教員の指導力と児童生徒の学力の向上を目指す「教科大好きプロジェクト」を実施しています。

第二回目の国語実践講座では南丹市立八木中学校の谷口恭子教諭に模擬授業「説得力のある考えを述べよう」を行っていただきました。

「まとまった文章を書くこと」に対する抵抗感をなくし、「書けた」という実感と自信を持たせる授業展開を具体的に紹介していただきました。

講座の後半では、俳句の創作に挑戦しました。
うちわ無い となりの風を うけ涼む
最多得票 ペンネーム（職員室）

【参加者の感想から】

○「書ける」「書こう」と思える手立てが多くあり、学級でも活用してみたいと思いました。全ての講義を通して、交流してお互いのよさに気付いたり、ちがう視点に気付いたりして、学び合えることが大切だなと思いました。（小学校）

○グループで話し合う際も、普段は交流のない小学校の先生方の取組を知る場となり、勉強になりました。（中学校）

○日頃から書くことの指導で悩んでいました。谷口先生の模擬授業を受けて、いかに自分がいい加減なことをやっていたのかと反省しました。生徒の目線にたってもう一度、一から学び直したいと思いました。（中学校）